

東青

みどりの通信

No.99
平成26年
5月8日



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0801
青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9965 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

平成26年度東青地域の「攻めの農林水産業」の推進に向けて

農業普及振興室長 田中 弘志

県では平成16年度から販売を重視した「攻めの農林水産業」の推進に取り組み、その結果、高齢化等による担い手減少が進展する中であっても、本県は平成24年度の農業産出額が8年連続で東北第1位を堅持するとともに、過去10年間の伸び率が全国トップとなるなどの成果が見られています。

第3期目となる本年度からは、本県農林水産業の「成長産業化」の実現を目標に、収益と働く場を生み出す「産業力」の強化と人口減少社会に対応した「地域力」の強化を車の両輪として進めていくこととしています。

このため、東青地域においては、夏秋トマト、バサラコーンなどの産地力及びブランドの強化や「人・農地プラン」による担い手の確保や6次産業化の推進などにより、農村社会の維持・発展に向けた将来にわたる地域経営体の育成・確保を図っていくとともに、間近に迫る北海道新幹線「奥津軽駅（仮称）」開業を念頭に、カシスやそばといった地域の食や「筒井紅かぶ」や「笹石かぶ」といった伝統野菜の再生、グリーン・ブルー・ツーリズムなどの文化・自然資源を活用した誘客による地域活性化を図って行きたいと考えています。

また、農地中間管理機構の創設や米政策の見直し、日本型直接支払制度などの国の新たな農業・農村支援施策についても、市町村や関係機関・団体と連携して周知・啓発を行いながら、地域の担い手の経営発展の契機としていただくよう、積極的な活用をサポートして参ります。

水田農業政策転換対応相談窓口を開設しています

東青地域県民局地域農林水産部では、平成26年度からの国の新たな農業・農村政策に的確に対応し、東青地域の水田農業の維持強化を図るため、また、施策の浸透や有効活用に向けて、各施策の担当部署間の連携体制を強化するために、部内に「水田農業政策転換対応プロジェクトチーム」を設置し、管内農業者等に対する相談窓口を開設しています。

- (1) 飼料用米などの栽培技術
- (2) 各種支援策の内容
- (3) 営農状況に応じた所得試算
- (4) 地域の合意形成

など、お気軽にご相談ください。

相談窓口：東青地域県民局地域農林水産部 担当 山本主査、若宮主幹、八島主幹

電話番号：017-734-9961 FAX番号：017-734-8305



平成26年度農業普及振興室の

農業普及振興室長

企画班



農業普及振興室長
田中 弘志
(室の総括)



総括主幹(副室長)
齋藤 力
(班の総括)



主幹
笹森 得子
(6次産業化)



主査
牧野 丈太郎
(耕作放棄地・GAP)

経営・担い手班



主幹(副室長)
蛸島 基
(班の総括)



主幹
工藤 マサ子
(グリーン・ブルー・ツーリズム)



主幹
神 紀子
(女性リーダー育成・直売)



主幹
若宮 英夫
(経営・担い手)

生産班



総括主幹(副室長)
山田 隆
(班の総括)



主幹
横山 順一
(花き)



主幹
野呂 賢一
(野菜)



主幹
八島 敏行
(稲作)

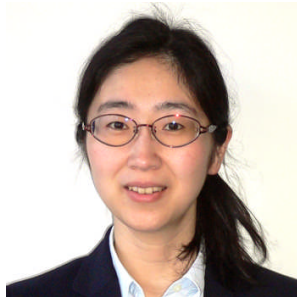
■ 春の農作業安全運動 ■

農作業事故の多くは、トラクター操作によるものです。ヘルメット着用や袖口など服装を整え、周囲に気をくばり、慎重に作業しましょう！

職員を紹介します！



主査
阿部 佳枝
(エコフーマー・食品表示)



主査
山本 倫子
(経営所得安定対策)



専門員
工藤 茂
(農地制度)



専門員
秋元 淑宏
(特別栽培・環境保全)



主査
成田 昌幸
(4HC・新規就農)



専門員
神 久夫
(土づくり・認定農業者)



専門員
小林 一三
(畜産)



主幹
坂本 康純
(果樹)



主幹
木村 一哉
(野菜)



主査
三浦 敏史
(土壌診断・情報)



主査
金野 加奈
(畜産)

■ 山火事防止 ■

タバコの投げ捨てや、たき火等の不始末に一人一人が注意し、山火事を防ぎましょう！

■ 山菜採り等事故防止 ■

予め家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめ、万全の装備をし、安全を優先しましょう！

新農業経営士、青年農業士、ViC・ウーマンを紹介します

平成26年2月、東青管内から農業経営士1名、青年農業士2名、ViC・ウーマン3名が新たに認定されました。今後一層の活躍が期待されます。

農業経営士



くらもと よしのり
倉本 義憲さん（平内町）

水稻を栽培するには気象条件が厳しい地域ですが、省力化とコスト削減のため「水稻直播栽培」や「育苗箱全量基肥栽培」など革新的な技術に率先して取り組んでいます。

また、水田作業ができなくなった農家の農地を引き受け、積極的に規模拡大し、県が育成を目指す「地域経営体」の候補となっています。

青年農業士



かとう しゅんえつ
加藤 俊悦さん（青森市）

水稻を主体とした野菜との複合経営を実践し、周辺地域の青年農業者で組織される「南黒おこめクラブ」の会計を努めるなど、地域リーダーとして活躍しています。また、若手農業トップランナー塾等で養った経営感覚を活かして、生産性向上や、こだわり米の生産に努めています。



でまち しんじ
出町 晋士さん（青森市）

りんごを主体とした水稻との複合経営を実践し、農協青年部やりんご協会支会の役員を歴任するなど、地域リーダーとして活躍しています。また、りんごわい化樹の栽培管理全般を担っており、樹形や樹勢に合わせた剪定を行うほか、一部に人工授粉も取り入れて、省力的で高品質なりんご生産を実践しています。

ViC・ウーマン



さとう あけみ
佐藤 明美さん（青森市）

J A青森女性部に加入し、戸門地区農業祭や各種講習会への参画を通じて、地域住民との交流を深めながら、地域活性化に努めています。

農業は、夫・長男・次男と一緒に水稻＋野菜の複合経営を営み、主に露地野菜の栽培と直売活動を担当し、消費者に喜ばれる野菜作りを実践しています。



かなざわ みかこ
金澤 美加子さん（外ヶ浜町）

加工グループ「Campagne（カンパーニュ）」の代表を務め、米粉や地域農産物にこだわったスイーツ・パン・惣菜などの加工販売、お菓子や工作などの体験受入に取り組み、積極的に女性起業活動を展開しています。また、東青の味加工産直ネットワークの役員として、若手女性の視点で組織の活性化に努めています。



かわむら かつえ
川村 かつえさん（今別町）

夫、長女とともに水稻＋野菜の農業を営み、ハウスでの夏秋トマトや寒締めほうれんそうなど野菜部門を主に担当しています。

ハウスの前に設置した無人販売所やJ A青森地産地消部会のインショップ販売など、直売活動に積極的に取り組んでいます。